

第 30 号 平成 29 年 3 月 31 日発行

藍すまいる

平成 19 年 3 月 19 日 創刊
伊達市障がい者総合相談支援センター「あい」



支え合い・助け合いの地域を目指して

平成 12 年に介護保険制度が施行され、今年で早 17 年が経とうとしています。

伊達市の高齢化率は現在約 35% で、3 人に 1 人は高齢者という状況です。全国平均と比べますと、約 15 年ほど先行しており、非常に早いスピードです。

今後の高齢者対策として、団塊の世代が 75 歳に到達し、爆発的に後期高齢者が増える平成 37 年への備えが必要となっています。

平成 27 年の制度改正では、これまで全国一律で実施していた要支援者に対するサービスの一部（ディサービス・ホームヘルパー）は各市町村独自の事業へと移り、負担額の少ないサービスで費用を減らそうというもの、また多様な主体による生活支援サービスの提供を行い、公的なサービスだけではなく、住民同士の助け合いや介護保険以外のサービスも活用していこうということがポイントとなっています。

伊達市では平成 29 年度より事業開始となりますが、これを実現するためには自ら介護予防に取り組み、健康を保ち続ける努力をすること、また現代では希薄化されつつある人との繋がりや支え合いを回復し、お互い出来る範囲で助け合い安心して暮らせる地域をつくっていくことが必要となってきます。

伊達地域包括支援センターは「介護予防って、どんなことをしたらいいの?」「近所に 1 人で大変そうな高齢者がいるけど・・・」など、高齢者の方達の様々な相談をお受けする総合相談機関でありますので、ご自身のことでも地域やご近所同士で困ったことがありましたら、お気軽に相談下さい。



伊達市地域包括支援センター
センター長 田中 仁

リ し ー ト ー ク



第 28 回

「何を紹介したらよいか、ではなく（自分を使って）何を紹介したいか」

胆振圏域障がい者総合相談支援センター るびなす
地域づくりコーディネーター 國松 直人

今回、自分が紹介するテーマは、自分が読んで面白いと思った本 2 冊です。

まず 1 冊目は、「ドラッカー 時代を超える言葉 洞察力を鍛える 160 の英知」です。この本に出会ったのは、「もしドラ」を立ち読みし、他にドラッカー関係で面白い本はないかなと思い手に取ったのがこの本です。

この本は、ドラッカーの著作等 29 冊の中で、かいつまんでまとめているのが、この本です。1~2 ページの読みきりで 160 テーマですので、論語等のように、気軽に読む事が出来る 1 冊です。

続いて、もう 1 冊は、「プロカウンセラーの聞く技術」です。この本は、当時大学生だった頃、現場実習等で面談の時に使える本はないかなあと本屋に行って何気なく手に取った本がこの本でした。当時に限らず、話す技術、書く技術等、発信する技術に関する本が多い中、聞くという視点に特化した本で、今の面談等でも十分に活用できるエッセンスが満載の本です。

以上 2 冊は、今でも時々読み返しながら普段の仕事に取り入れつつ、日々の仕事を振り返る機会にしています。

最後に、本の一部を抜き出して終わりにしたいと思います。

「(自分は) 何によって憶え (覚え) られたいか」「(あなたは) 敬意をもって遇されているか、応援されているか、貢献していることを会社は知っているか」「大工と話しをする時は、大工の言葉を使い」

皆さんは、お気に入りの本はありますか？



次回は、胆振日高障がい者就業・生活支援センター所長 鹿野内賢士さんを予定しております。

地域サロン

餅つき大会

1 月 21 日 (土)、地域サロン「Poco a Poco」にて、毎年恒例の餅つき大会を開催いたしました。

皆さんとても楽しみにしていたようで、11 時半の開始前から多くの方が来場されました。



餅をつき始めると、「よいしょー!!」といった大きな掛け声があがり、実際に餅をついた利用者の方々も、より一層気合が入ったと語っていました。

餅は、あんこ・きなこ・納豆の三種類とお雑煮にして提供させていただきました。

年初めの行事として大いに盛り上がりました。

ご参加・ご協力頂いた皆様、ありがとうございました(^o^)

情報発信：No.27



株式会社
ホープウインド
つくし



おかげさまで、開設 10 年。これからも皆さまの心に、「つくし」ます。

こんにちは、株式会社ホープウインド「つくし」です。

当事業所は平成 19 年夏に開所、1 年 365 日間を通し、総合的な介護福祉事業を行っています。

伊達や壮瞥・洞爺湖町といった西胆振地区を中心に、訪問介護・デイサービス・居宅介護・介護移送・相談支援の 5 つの事業を、「皆さまに、親身・親切・信頼されるサービス」を目指して提供しています。

訪問介護事業

高齢者対象

居宅介護事業

障がい者対象

移送事業

高齢・障がい者対象

デイサービス事業

高齢者対象

相談支援事業

障がい者対象

高齢者を対象とした訪問介護事業・障がい者を対象とした居宅介護事業は、介護を必要とする皆さまに食事の調理や部屋の清掃、入浴の補助や病院の付添い等、自宅での日常生活が安全・安心にできるようお手伝いします。

移送事業は、要介護や障がい等により、自力では移動の困難な方の通院の送迎サービスを提供します。
(※…車椅子対応車両あり。)

デイサービス事業は定員 10 名の少人数制サービスを提供し、きめの細かい個別サービスで対応します。レク・ゲームや体操による頭と体の活性化はもちろんのこと、エステ・マッサージも利用可能です。中でも、熟練のプロ調理師が調理する温かい昼食と、月一回の事業所内ヘアサロンが利用者さまからもうれしいと、特に好評をいただいています。

相談支援事業は、自立支援法による様々な障がいを抱えた方々の、悩みごとの相談からサービス計画の作成、諸手続きまでワンストップで受け付け、利用される皆様に適切なサービスを提案、よりよい豊かな生活を支えるお手伝いをします。

つくしは、開設より 10 年の節目を迎えました。今後も日々職員一同、常に専門のプロとして知識や技術の習得に努め、ご利用者さま、またご家族の皆さまとのつながりと信頼を大切にしていきます。

**私たち「つくし」は、これからも地域の希望の風として
皆さまに貢献し、幸せを創造していきたいと考えています。**



◆問い合わせ◆

株式会社ホープウインド つくし

〒052-0025 北海道伊達市網代町 8-2

電話：(0142) 21-0270

FAX：(0142) 22-1377

mail：tsukushi.0301@flute.ocn.ne.jp

齋藤 誠さん 突撃インタビュー

いつも元気に、お仕事・余暇共に全力投球の齋藤誠さん！！

今回は、その秘訣を探るべく、インタビューをさせて頂きました。



○お仕事の内容は？

育成会のころぼっくるで、掃除の仕事をしています(近隣福祉施設の風呂・トイレ・排水溝の清掃やモップ掛け等)。

○趣味は？

サイクリングです。サイクリングロードを走ります。

○今年頑張りたいこと(行ってみたいところ)は？

今年も、育成会のお仕事を頑張りたいです。行ってみたいところは大阪で、大阪城を見たり、お好み焼きを食べたりしたいです。

○去年一番思い出に残ったことは？

6月に行った仙台旅行です。北海道新幹線に乗れたのが良かったです。

○藍すまいるをご覧になっている方に一言

機会があれば、皆さんとお話してみたいです。新年度も、楽しく仕事をして頑張っていきたいと思います！！



インタビューを通じて、誠さんの何事にも前向きな姿勢を強く感じました。これからも、誠さんらしいエネルギーな毎日を送ってください！！ご協力、ありがとうございました。

退職者・異動職員より挨拶
今年度の三月末をもって、退職・異動となる職員がお
Shiba.

○主任相談支援専門員 岡部 由美(退職)

福祉の現場に戻り、皆様のサービス等利用計画(応援歌ともいえる)を共に立案・歌唱する、そんな素晴らしい仕事をさせて頂いた4年間でした。外なるものは衰えても、内なる情熱・信念は不変であること、いや、むしろパワーアップしていくことを実感させて頂きました。充実した4年間を与えて下さった皆様、本当にありがとうございました。

○相談支援専門員 長田 祥平(異動)

このたび、4月1日付で釧路地域生活支援センターへ異動することになりました。

伊達市では、主に相談支援業務に従事させて頂きました。振り返ると赴任当初は、右も左もわからない土地での初めての相談業務とあって、苦戦していた毎日だったことを思い出します。そんな中、あたたかい職場と、やりがいのある仕事に恵まれ、なんとか乗り越えられた4年間だったように思います。また、たくさんの利用者さんとの関わりを通して、様々なことを学ばせて頂きました。

これからは、ここで教えていただいた4年間を忘れず、もっともっと自分を磨いて、存分に力を発揮して参りたいと思います。そして、いつかまた皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。



雪解けも進み、段々と春らしくなってきました。

春は「出会いと別れ」の季節です。離れてしまっ方々との思い出を胸に、そして新たな方々との出会いを楽しみに、新年度もガンバローー！(相談員の 新年度に向けた気合の言葉)